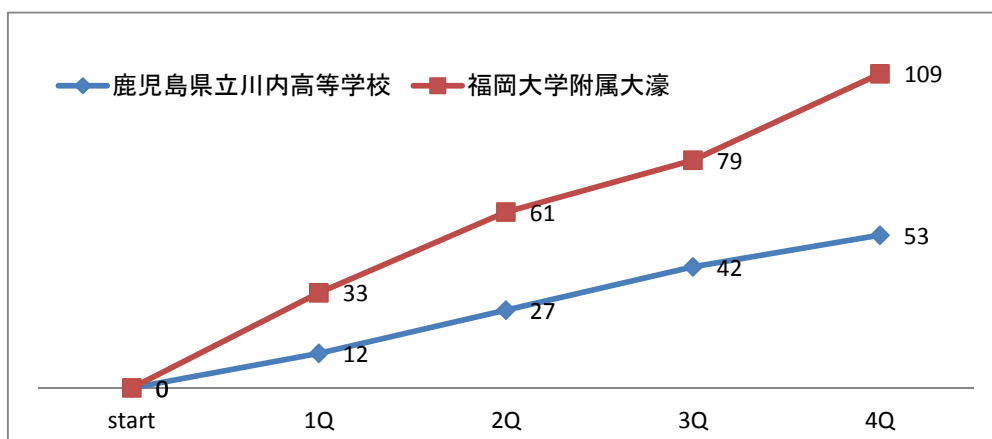


平成25年度 全九州高等学校体育大会 第66回 全九州高等学校バスケットボール競技大会 男子の部

男子準々決勝	鹿児島県立川内高等学校	53	109	福岡大学附属大濠
主審	川越 正俊	(鹿児島県1位)	●	○ (福岡県1位)
副審	橘 裕			

No. 22b5 日時: 2013年6月22日(土) 15:00 会場: 宮崎県体育館



鹿児島県立川内高等学校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	押川 拓朗	0	0	0	0	0
5	松永 晃佑	-	-	-	-	-
6	福山 雄大	0	0	0	0	0
7	* 富迫 周悟	0	0	0	0	0
8	井上 心	3	0	0	3	0
9	土器手 康晴	9	3	0	0	0
10	松田 龍逸	-	-	-	-	-
11	* 須留原 健	14	0	7	0	3
12	* 鎌迫 諒太	12	0	6	0	3
13	* 堤 昂大	6	0	3	0	0
14	松本 征樹	0	0	0	0	0
15	* 平野 健斗	9	0	3	3	1
コーチ	田中 俊一					
合計		53	3	19	6	7

福岡大学附属大濠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 青木 保憲	7	1	2	0	1
5	堤 大喜	0	0	0	0	1
6	金丸 亮太	0	0	0	0	0
7	* 葛原 大智	6	0	3	0	1
8	牧 隼利	8	0	4	0	2
9	* 松尾 啓輔	4	0	2	0	3
10	藤井 裕太	5	1	1	0	0
11	鳥羽 陽介	25	4	6	1	3
12	帯刀 滉暉	2	0	1	0	0
13	* 津山 尚大	13	1	5	0	0
14	* 杉浦 佑成	35	1	15	2	0
15	野口 夏来	4	0	2	0	1
コーチ	片峯 聡太					
合計		109	8	41	3	12

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

試合開始、ジャンプボールは大濠ボールとなりミドルシュートを決める。その後両チームとも的確なシュートを決めた。ポジション争いの激しい当たりの中リズムよくボールが動く大濠が得点を伸ばす。タイムアウトを取った川内もその後得点するが大濠#14の3Pで点差が開いた。

第2Q、大濠#14が巧みなハンドリング見せレイアップ、ミドルシュートを決める。川内はインサイドへのパスが入らず外からの攻めが多くなった。大濠は速攻、セットオフenseで得点を伸ばした。

第3Q、大濠#14番の連続得点から後半スタート。川内は#15のオフenseリバウンドからバスケットカウントを決めた。川内の流れとなったがミスも重なり、点差は縮まらない中、ベンチの指示を2階の選手保護者席も一体となって伝えるチームワークを見せる。

第4Q、両チームとも試合を通じてユニフォームの乱れを自ら正し、堂々とした戦いを見せる。大濠の高さと粘り強いDFに対し、苦しい体勢ながら#12がレイアップをねじ込むが、大濠は3Pと速攻で点差を広げる。最後まで諦めることなく戦う川内、それに応えるかのように自分たちのプレーをぶつける大濠高校は連続3Pを決めさらに点差を広げた。

記載者

吉田・真栄城